

会議録（会議結果概要）

名称	第5回 各務原市緑の基本計画策定委員会
開催日時	令和8年3月5日（木） 13:45～14:45
開催場所	産業文化センター 4階 第2学習室
出席者	川口暢子委員長、大野暁彦副委員長、並木祐之委員、松原史尚委員、木村徹之委員、永田美帆委員、尾関純子委員、斉藤義雄委員、森田起宇委員、村瀬誠委員、川口雅慎委員
議事及び 審議・協 議結果等 の概要	<p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) パブリックコメントの結果報告 (2) 緑の基本計画（案）について 4 閉会
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 事務局より説明 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) パブリックコメントの結果報告 (2) 緑の基本計画（案）について <p>議事（1）</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントの意見ですが、非常に良い意見であると思う。今回制定する基本計画にも盛り込まれている内容である。 <p>議事（2）</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の改訂は大きな転換点で、次の10年、20年どうするかを考えていく計画である。 ・ 広域的な緑施策をどこまで実現できるか。健康のインフラや治水対策をどのようにモニタリングしていくか、今後広域ネットワークとして重要になってくる。

<p>議事及び 審議・協 議結果等 の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用の観点からするとパーク PFI の制度ができ民間が公園に参入できるようになった。人口減少により税収が減少している中で、今までの公園整備のやり方はもう古い。市の考えだけじゃなく、民間事業者、ボランティアなど多様な主体が関わる公園づくりが今後さらに求められてくる。次の 10 年でそうした多様な連携をどこまで実現できるかが重要である。 ・ 計画を作って終わりではいけない。行政の中でも緑関連の部署だけではなく組織として横断的にやっていくべきである。市民もしくは自治会含めた地域との連携も当然重要になってくる。 ・ 最終的には、公園都市から更に資質が高まり、公園文化都市のように文化として見せていけるようになるとよい。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで創出してきた緑を次の担い手に引き継いでいくことが大事だと思う。基本計画は冊子として完成するが、小学生向けの学習用の概要版をぜひ作成してほしいと思う。小学校のときから、学区内にはどういう緑があって、どのように緑に関わっていけるのか考える場があるとよい。
<p>会議資料</p>	<p>資料 1 各務原市緑の基本計画策定委員会委員名簿</p> <p>資料 2 パブリックコメントの結果報告</p> <p>資料 3 緑の基本計画（案）</p>
<p>備考</p>	